

資料が必要な方はお届けします。
またはHPでダウンロードできます。

2020年夏版

日本共産党 目黒区議会議員



こんにちは

いも かわ

芋川 ゆうき 区政報告

いも お芋の「芋」に3本「川」
100%「ゆうき」

号外

住所：目黒区南3丁目在住 TEL：090-4206-2048

ツイッター・facebook公開中！お問い合わせ ☒ <imokawa007@gmail.com>

学校施設の8割以上が築50年以上に。

現在・最古「大岡山小」は地域の中でどうしていくべきか。

区は8月28日(金)まで意見募集をしています。(左QRコード)
わたしのホームページでも声を募集いたします。(右QRコード)



現在、目黒区の学校施設の8割以上(31校中25校)が築後50年を経過しています。

区で定めた「区有施設見直し計画」(平成29年6月)において、これまで目安としてきた「築後60年」を超えて使用が可能な建物について、安全性を確保したうえで築後80年程度まで継続使用することを原則としています。

学校施設について、継続使用の判断の一つとなる構造耐久性調査を実施した結果、総じて築後80年程度まで使用し続けることができることが確認できました。

以上を踏まえ、いずれの学校施設についても今後30年間のうちに更新していく必要があることから、本計画の計画期間を30年間(2021年度～2050年度)とします。

計画期間内に児童・生徒数の増減や建築コストの変動などの社会情勢の変化、教育ニーズの変化、学校建築に係る技術革新、目黒区全体の財政状況の変化など様々な変動が発生することが見込まれることから、これらの変動に対応していくため、計画全体を10年ごとの3期に分け、原則5年ごとに改定していきます。(素案に向けた基本方針より)

「目黒区区有施設見直し計画」 (平成29年～10年計画)では、 区有施設の総量(総延床面積)の15% の縮減を目指す

目黒区区有施設見直し計画の中で、「今後40年間で区有施設の総量(総延床面積)の15%の縮減を目指す」という数値目標を掲げています。(区有施設見直し方針)

そして、この目標については、さまざまな社会経済状況や区の施策等を総合的に踏まえて原則として5年ごとに見直しを図ることとしています。

上記のことから学校施設に地域周辺施設の複合化が検討されています、地域の「運動」がさらに大事になっていきます。災害の地域避難所にもなる学校です。地域の声をしっかり上げていきましょう。(ウラへ)

本区の学校は、1950年代から1960年代にかけて集中的に整備しており、最も古い棟でもすでに築50年以上経過している学校は31校中25校にのぼります。

建築年度	築年数	小学校	中学校
1956年度	63年	大岡山小	
1959年度	60年		東山中、第十一中
1960年度	59年	菅刈小、八雲小	第一中、第八中、第十中、大島中
1962年度	57年	鷹番小、油面小、不動小、五本木小、中目黒小、鳥森小	第七中、第九中
1963年度	56年	田舎小、東根小、月光原小	
1964年度	55年	下目黒小、上目黒小	
1966年度	53年	駒場小、向原小	
1967年度	52年	原町小	
1970年度	49年	中根小	
1984年度	35年	宮前小	
1986年度	33年	緑ヶ丘小	
2007年度	12年	碑小	目黒中央中
2015年度	4年	東山小	

31校中25校が築50年経過
※旧耐震基準の学校は26校

区有施設に占める学校施設は約4割

目黒区の区有施設の延べ床面積の内、学校施設は約4割を占めています。

建築年度から見ると50年以上が一番多く81%となっています。

右図は建築年度と築年数、小学校、中学校の一覧になっています。

※旧耐震施設は26校になっています。

→ 計画は、30年のうちに26校の更新を計画的に進めるために策定します。
残る5校については、これまでどおりに適切な維持管理を施していきます。

意見募集の内容

- 1・更新スケジュール
- 2・更新順位の考え方
- 3・建て替えに当たり複合化を検討する周辺施設
(表から)

区は上記に対して8月28日まで意見を募集しています。

この「基本方針」に区民の意見をいただいたうえで、「目黒区学校施設更新計画(素案)」を作成していきます。

【意見】は、様式を問わず、郵送、持参、FAX、電子メールのいずれか。

※詳しくは区のホームページにて

《学校施設との複合化・多機能化を検討する候補》

学童保育クラブ(放課後の児童の居場所)

住区会議室(地域コミュニティの活動拠点)

老人いこいの家(高齢者を中心とした多世代交流の場)

社会教育館等(区民が主体的に学び、地域に生かす場)

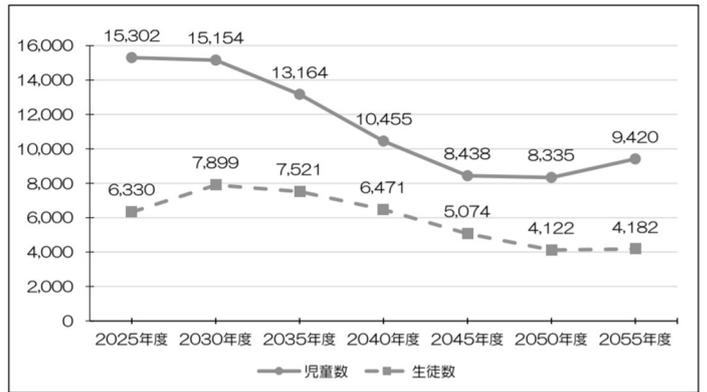
図書館(知・文化の拠点となり、地域とつながる場)

複合施設として、地域のコミュニティ活動の拠点施設に



左図
項目3の内容
になっている。
「教育委員会
での検討の状
況」です。
複合化を単純
に考えれば施
設が減ること
にもつながり
ます。ぜひ、
ご意見を。

<参考1> 今後の区全体の児童・生徒数の推計



『目黒区人口・世帯数の予測』(H30.3)を基に作成

<参考2> 構造体耐久性調査

鉄筋コンクリート造の建物を長期にわたり使い続けていくためには、建物の主要構造体である柱、梁、壁等(躯体)の耐久性(これらの構成要素であるコンクリート及び鉄筋の健全性)が重要であり、その確認のために行う調査・評価。

調査項目

1 建物構造体の現状の調査	①コンクリートの強度 ②鉄筋の腐食状況(さびの状態)
2 建物構造体の将来の調査	③コンクリートの中性化の進行状況

なお、本区の学校施設はいずれも耐震補強工事を実施しており、安全性は確保されています。

なんでも生活相談・法律相談

■8月日程 場所・芋川ゆうき(星見てい子)事務所

※なんでも相談(直接お越しください) 住所:原町2-22-12

8月4・18・25(火)午後7時~(毎週火曜日)

※無料法律相談 対面相談のみ

8月はありません。(第二火曜日夜)



区議団無料法律相談

■8月20日(木)午後2:00~(基本第三木曜日)

場所・目黒区役所5階共産党控室 要TEL:090-4206-2048(芋川)